



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

CITATION:

雑報. 地球 1931, 15(2): 160-164

ISSUE DATE:

1931-02-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183864>

RIGHT:

三井寺所藏の唐通所凡十二篇に上る豈盛ならずや、蓋し近來京大出身の史學科の人々が、地理方面の論説をかくことは著しい事實である、我々はさうした人々が史學科の人々であるからといって、その論文が歴史であつて、地理でないなど、考へては大なる誤であると思ひ敢てかうした力作に充ちた論叢の出版されたことを報告しておく。(M)

○中國地名大辭典

劉均仁著 國立北平研究院發行

定價十五元

本書ははじめて出來た支那の地名辭典である、新しい地名がよくわかる、ずつと古い歴史的地名の中には之を省略したものが多く、本書で最もうれしいのは、著者が日本の文學士宮越健太郎氏の注意により、羅馬字の索引を卷末に附したことである、支那の地名は漢字でその讀法がわからぬので苦む人が多い、こうした時節に漢洋の對譯を座右にもつといふことはいかにうれしいことであらう、しかしこれによつてリヒトホーフエンのアジャに出る地名がすべてわかるといふわけにはゆかぬ、山や川の名は殆どなく、主として縣や村の名の辭典であるからである、四六倍版一一一八頁、ローマ字索引二三二頁の大本である。(F)

○六國史索引 全

大阪朝日新聞社發行 正價四圓

大阪朝日は其創立五十年紀念として、こゝ二三年にわたつて六國史を校訂して正本を世に出したが、その最後の事業として索引一部をつくつた、佐伯有義氏の努力の結果である。

神名、人名、地名、雜の四部にわかつて、六國史全部にわたつての索引が出來た、我々はこの後本書によつていくばくの利便をうるかはかりしられぬものがある、その神名の索引をみる丈けでも、我國古代の人文地理を明にするために、いかに有用であるか、その地名をひいて、古い地名のいかに變化したかをしるといふことの如き全く本書の賜は豫測しがたい。予は本書の如きまじめな著述が、我地理學界の中に於て出現せんことを祈らざるを得ない。(藤山)

雜報

○北伊豆地震に現はれた諸現象 (圖版第三版解説)

上圖は田方郡南村田代盆地の耕地を南南西から望んだもので、面積二十町歩に達する。全面に亘り鍋狀斷層により陥没してゐる。周邊では只龜裂となるが同心圓をなし、漸次中央に進むに従ひ、階段小斷層をなしてゐる。此の階段小斷層の認めらるるは直徑凡三百米の範圍で、落差十五釐乃至五釐中心部は傾斜する階段をなす。圖中中央に水を湛へてゐるのは此の部分である。海平—原保斷層は盆地の北山地から西縁丘陵に開けた畑地に沿ひ南下して耕地の西邊を横ぎり、西側降下してゐる。圖中左方に水を湛へてゐるのは此の凹所である。下圖は田方郡田中村田中山御料地の陥没である。駿豆鐵道田京驛の東北東凡そ四軒の地點で、北條の辻と北狩野村茅

野とを連ぬる線の略中點、田中山中組足川直藏氏住宅の位置する丘陵である。丘陵は東から西に伸び、一部開墾されてゐる。附近一帯厚さ六米許りの墟塼の層につきぎ稍硬い火山岩層の堆積からなつてゐる。陥没面積凡そ一町歩に達し、北二十五度東の龜裂により凡そ八米陥没した。局部的には最大陥没二十米に達してゐる。龜裂は此の外北七十五度乃至八十五度西のものを發達し陥没してゐる。圖は前者による陥没を西北西方から望んだものである。(K)

○オーストラリアの經濟

オーストラリアは今日でも他國から資金を仰で國內産業の發達を計りつゝある現狀であつて、歐米先進國の如く、諸般の事業も未だ勃興の域に達せず、海外からの金利、船舶運賃保險料等による貿易外の收入は殆ど皆無であるから輸出貿易が唯一のたよりである、そこで外債の利子や其他の支拂には夫だけ餘計に輸出をして行かねばならぬのである、然るに容易に輸出額は増加するものでなく世界の不況になるにつれて、オーストラリアの産物を買つてくれるものが減じてくるに反して毎年著しい輸入超過になつた、これはオーストラリアの人々の消費が贅澤になつた結果である、そこで其決済のために止むなく外資の借入を増加した、換言すれば借金でその不足を支辨したのであつたこれは我國の過去の財政に似たものであるが、その外債が段々重つてきて、今日ではロンドン市場に於ける濠洲の信用は墜落に墜落を重ねて、此上取りとめもなく借款をつゞけるこ

とは内外の事情上頗る困難となつた、そこで一九二九年十月勞働黨政府の樹立となつて外資借入を斷然打切ることになつた。

ところが一方輸出貿易は其大宗たる羊毛の相場が漸次下押となるのみで、一九三〇年一月末には大戰後に於ける記録的大暴落となり、それが日本にも影響して毛織物會社の中には致命傷を得たものが出来た、おまけに小麥は不作で相場が引立たず、他の重要品亦かてゝ加へて一時恐慌來の噂が傳はり、銀行は貸出を制限し、政府は本年中に四回に及びて關稅の引上げをなし、單に國內産業保護でなくて、輸入防壁の手段に變じ最後に奢侈品の制限及禁止を斷行するに至つたのである。

その結果オーストラリアの本年の貿易は下半期に多額を來し輸入一億三千萬磅輸出一億二千萬磅全貿易二億五千萬磅に達し前年よりも三千二百五十二萬磅を減じた、輸入の重なるものは、自動車、ウキスキー、烟草、袋、靴下、帽子、毛織物、茶、木材、陶磁器いづれも減少した中に魚類の罐詰が八萬磅を増加して百三十四萬磅になつた、日本の蠶繭詰が増加した結果だといふ、輸出品では羊毛脂付三千二百九十三萬磅洗上三百五十七萬磅で合計で二千四、五百萬磅の減少である小麥も千三萬磅で一千萬磅から、減少した、牛肉、ミルク、クリーム、羊皮、兔皮、牛脂等いづれも減じたが林檎が英國へよくうれて八十七萬磅を増加し百五十七萬磅に達し、仔羊

肉も三十萬磅以上増加した、これは羊毛不況のために屠殺製肉が増加した結果である、オーストラリヤも財政難であることがわかる、世界の不況の襲ふてきた所は襲うてくる以前に借金といふ病源があるらしい。これは獨りオーストラリヤのことではないと思ふがどうであらう。

○浙江省の桐油と日本の桐油

桐油は支那の重要物産の一つであつて湖北、湖南、四川、雲南、貴州及南支那の各省から出る、其輸出年々九十萬擔乃至百萬擔價格二千二百萬弗をこえる、殊に近來亞麻種油の代用品として、家屋船舶等の塗料に用ひられて耐久性が強く虫害防禦の力が強いことがわかつてきたので桐油讚美の聲も世界的になつた。

浙江では品質佳良を以て知られ、浙江の南の方の興地衢州金華嚴州等から出る、その原料たる桐子は桐樹の果實なるが落葉喬木で樹幹の高さ多くも二十尺、太さ直徑五寸乃至八寸樹皮青く光ありて葉は掌狀、落花後果實を結ぶ大さ林檎の如く、其中に五箇乃至七箇の果實がある、油桐に二種あり一は千年桐といふが之はつくらない、一は三年桐といふ、高さ十尺位になる、枝の多い木で植樹の後四年で結實し、每樹七八枝、一枝に約十餘箇の實が出来る、第五、第六兩年の産は四年目とひとしい。七年目になると産量漸く減じるから之を伐採して燃料にする、栽培は播種法で、春季にまく、秋季果實成熟の後、自然落下をまち翌年三、四月頃土質の肥瘠適宜

の地に距離六、七尺毎に直徑一尺深さ五寸の穴を掘つて二三粒まいて、土で二三寸かくしておくと、五六週間で發芽し、第二年に横枝の多いものを残して、他は悉く除去する、この間たえず除草する。

三年目の秋から採取、但し自然落下をまつ、桐子を堆積して外殻をくさしてから水にて洗ひ、之を乾した後石臼の中でくたく、細末を更に木製蒸籠で熱湯で蒸して、次第にゆるめて、二三十分で出し餅にする、この餅四五十を油車でしめると氣味強力なる油が出る、之を頭油といひ、残りは二番油三番油としめてとる、桐子百斤につき四十斤乃至五十斤の油がでる、事實は油は六〇％あるが、土法では四〇％から五〇％しかとれぬ、油粕は肥料になる。

船舶塗料、油紙、油布、雨衣、雨傘に用ひ、石膏と混和して桐油灰となり、植物油と混じて燈料となり、油蠟をつくつて磁器、硝子、寫字用に適する、歐米では假漆及油畫繪具製造に用ひ、ペンキ原料として需用が多い。上海には大きい問屋があつて、益盛、恒祥、恒美の三軒が主となつて振興公司といふ組合をつくり、出張所を衢州蘭谿（王羲之の蘭亭帖の地）においてゐる。

杭州にも十軒からの大油行がある、予はこの木を日本でも鹿兒島宮崎又は土佐、紀州邊でつくつてみることをすゝめたい。和漢三才圖會には「あぶらぎり」油桐としるし、紫花桐に似て小さい。但其實大にして圓、每實の中に二子或は四子あ

り大風子の如し、之を食へば吐逆す、人多く種蒔で子を收め之を貸して油と爲す。按ずるに江州濃州多く之を種え油を搾り、天津の油家にて之を販る其功在の油に同く煉成漆に代へ以て五色をぬるべし、常の漆は白色を塗る能はざる也又松脂を加へて船槽にぬる水を漏さずと記してゐる、即日本では古い時代にペンキ塗があつたのだ。しかし恐らく江州濃州のは本文の千年桐であつて、三年桐ではない、予はこの三年桐の栽培の研究をすゝめたい。嘗て本誌に栗の輸出を記してから三年、昭和四年に日本の丹波栗が、十二萬三千圓米國へ輸出されて七面島の料理に用ひられ本年はサンフランシスコから山をこえて東方ニューヨークにも行くやうになつた。

三才圖會に既に江州濃州多く之を種えとあるのをみて、湖北伊香郡邊の油桐のことを思ひ出す、中國山脈にもこの古い桐畑は多い筈であるが、未だ日本に三年桐あるを知らない、世人の注意を喚起してみるのである。(F)

○開城地方の聚落

朝鮮の中央部に位し西は禮成江に、東は長湍郡、南は漢江、北は天摩山等の山地に接し一帯に人蔦の主産地として知られる、中心の開城府は李朝時代、留守觀察使又は府尹の居た所、昭和五年から府制をししく面積〇、九方里餘、十三町、九千六百四十戸、人口四萬六千七百餘と稱し、三面山にかこまれる、満月臺、敬德宮等の名勝も多い陰曆四月八日の觀燈會や端午の節句のブランコの大會などは高麗の昔を偲ぶ古俗で、各地で漸く廢れんとする婦人の被衣

がこの地は今も用ひられて、いかに古都らしい。

この町は兩班市ではなくて、全然町人の町で、他の朝鮮の町よりも堂々とした瓦葺が多い、開城商人の力がそこに現はれてゐるのである。他の朝鮮の市街は内地人の市街から發展したのが多いが、この開城だけは例外であつて九千四百戸の中で内地人は四百二十戸外國人五十五戸に過ぎない、支那人でさへもこの町では驢足が伸びない、蓋し開城の商人は質素勤勉で商機に長じ團結力が強く、信用制度が發達して居るので全鮮に行商に出て、日本の近江商人支那の山西票莊に似た活動をする、金融上時邊といふ貸出方法をやり各種の盛契があつて勘定が明快である、故に開城簿記といふ帳面の方法が出来上つた所である。

猶又開城郡は女一〇〇に對し男九六である、故に開城地方には古來烈女節婦が多く、行商の留守に於て、後顧の患なからしめたものである、到る所でさうした女の石碑があるのも面白いことである、鐵道の開通産業の發展等、府制實施以來新しい市街の膨脹が著しいのは其附近の農村の見すばらしさに比べて注目すべき事實である。(善生氏の所論による)

○埃及の國際的重要性の推移

エジプトの國際上の重要性は、スエズ運河、良質棉花、アラビヤ諸國及回教界の優越的地位、良避寒地の四點であるが、就中第一のスエズは東洋と歐洲との重要商業路である點にかゝるのであるが最近イラークの首府バグダットとパレスティンの良港ハイファと

の間に鐵道が敷設せられるので、スエズの經濟的位置に影響があると考えられてきた、勿論本線の完成は五ヶ年の後にあるけれども、完成するならば中東貿易の大部分はスエズを経由しなくなるであらう。

近年航海造船術の發達と進歩はスエズ運河經由と希望峰迂回との差を大に縮小せしめた特に戰時英國海軍は、フランスやイタリーの潜水艇の居る地中海を通るよりも、喜望峯を通る方が安全なために軍事上スエズの重要性が輕くなつたといふことである、英國はスーダンの貿易港をワディハルファより紅海のポートスーダンに移したために、埃及がスーダンに對する重要性もなくなつた。かやうにしてアレキサンドリアの將來はやゝ悲觀されてゐる。

第二に埃及棉の良質が呼び物であつたが、これも近頃紡績器械の好良により、必しも細長纖維を消費しなくてもよいやうになつたから、需要が減退してきた、又他の國の棉花栽培による品種改良も進んできたのに比して、埃及棉は最近退質の患があるから、エジプト棉の位置も必しも樂觀が出来ない。第三に回教徒國で今日までは齷齪であつたエジプトも最近は國富が減退したと同時に、イラク國の如き新進の勢で政治的に獨立しやうとしてきた、カイロのアズハル大學も教育が舊式であるために、回教國からの學生を集めることが出来ぬやうになつたので、この方も安心が出来ない。

第四に良避寒地であつた埃及も文明施設に怠つてゐる間に

佛國のテュニスやトリポリの避寒客吸收の力が増加したので面白くない、佛國のホテルは椰子檳榔子の地方をこえて大自らの神祕にみちた沙漠の奥地に進んでゐる、しかるにエジプトのホテルは外人の獨占的事業で暴利を貪るに過ぎない、かやうに考へるとエジプトの國際的性質は毀々と影をうすくするやうであるといつて、ワディニル紙は警告を發した

○ポールター、ダム建設工事

米國ロスアンゼルス

の附近、下カリフォルニア河頭に、イムペリアル平原といふ海面下二百五十呎の低原がある、それはコロラド河の砂で河頭を切斷して池としたのが、蒸發のために出来た低地である。この低地は現在アラモ國際運河によつて灌漑され、合衆國最豐饒の地といふ評がある、ところが一九〇五年大洪水にあつて三百方哩の大湖が出来、その後屢コロラト川が氾濫してこまつてゐたが、一九二八年になつてコロラド河の一支ポールター峡谷にダムを造つてこの灌漑をなすことにきまつた。其計畫は堰堤高さ七百二十七呎、幅二百五十呎乃至千五百呎とし厚さ六百五十呎とする。

貯水池は長さ百十二哩、深さ五百呎、幅三十哩

溝をひくこと六十哩にしてイムペリアル及コーデエラ平原を灌漑すると共にコロラドの水を利用して百萬馬力の發電所をつくるといふ、費用は一億六千五百萬弗、八ヶ年の計畫で昭和五年九月からいよいよその工事をはじめた、出来上るならばロスアンゼルスの上水もこゝから引かうといふことである、大きい地形の國には、大きい工事が出来るものだと思ふ